



問

本町専門職の適正配置並びに 計画的養成を望む

答

定員適正化計画の中で対処する

問

横浜市のマンシヨ
ン基礎工事の施工不
良問題で、関係者のモラル・
技術力の低下及び、まる投げ
体質が感じられる。本町で工
事を発注しているが、25年
度・26年の工事発注件数及
び監督・管理体系、また、発
注した課の専門職の配置状
況を問う。

総務課長

平成25年度の発注状況は、
全課合計で41件、平成26年度
は同19件となっている。工事の
監督・管理体系は、こども未来
課を除く全課で建設水道課の
土木技師が担当している。な
お、こども未来課が発注した建
築工事については、嘱託職員及
び外部委託により対処した。工
事関係の専門職の配置について
は、平成25年度は建設水道課



問

に土木技師8名・建築技師1
名、平成26年度は、土木技師8
名・建築技師2名を配置した。
工事の竣工検査は
最終的な工事の合否
を判断するもので、設計通
りに出来ていなければ税金
の無駄使いに通ずるもの
で、工事の知識を有する者
が行うと考えるが本町では
誰が行うか。

総務課長

竣工検査は建設水道課の
技術員が検査を行い、発注課
の課長及び総務課長が立ち
会う。

問

専門職の適正配置
は、税金の無駄使いの
防止及び住民へのサービ
スの向上になるものと考え
るが、専門職の養成と合わせ
今後の計画は。

総務課長

専門職は、土木技師・建築技
師の他、保健師・看護師・社会
福祉士等の配置が必要で現在、
定員適正化計画の策定を進め
ており、その中で専門職の採用
計画を検討している。また、併
せて専門職の養成も行う。

問

来年3月に筑後市
に完成するソフトバン
クホークスのファーム本拠
地「ホークスペースポール
パーク筑後」と本町の地域活
性化に向けた関わりは。

町長

平成26年7月に筑後市を
中心とした、周辺7市町村と
福岡ソフトバンクホークスと
の間で地域連携協定を締結
した。

平成26年度及び27年度は、
町内小中学校のヤフォクドー
ム観戦招待、町民や地域団
体への入場無料引換券の配布
及びホークスファンクラブの
特別プランの提供等を実施し
ている。

28年度は、ホークススペース
ポールパーク筑後の開業イベ
ントをはじめ、ホークス選手
OBの野球教室や試合観戦者
等への地域PRイベントを検
討している。

今後、県内外からの来場者
へのPR活動を通して町や特
産品の認知度の向上、それに
伴う交流人口の増加や地域公
共交通の利用増加等地域活性
化につながる施策を実施して
いく。



ホークスペースポールパーク筑後の建設風景